

自然科学研究科博士後期課程（工学系） 就職状況（平成23年度～平成27年度）

No.	修退年度	就職先（[入学・在学]・退学・修了時）
1	H23	[関西学院大学/契約助手（常勤）]
2		[中国職業能力開発大学校→雇用・能力開発機構/講師]
3		[中国職業能力開発大学校附属島根職業能力開発短期大学校/准教授]
4		[福岡工業大学/准教授]
5		有明工業高等専門学校/助教
6		関西大学/助教
7		[赤塚植物園/研究者]
8		[帝人ファーマ/研究員]
9		[ナカシマメディカル/研究者]
10		岡山大学異分野融合先端研究コア/非常勤研究員
11		岡山大学大学院自然科学研究科/外国人客員研究員
12		おかやまバイオマスイノベーション創造センター/ポスドク
13		情報通信研究機構/研究員
14		東京大学大学院薬学系研究科/博士研究員
15		ハイテック/技術者
16		北斗特許事務所/特許事務（技術者）
17		マナック/研究者（契約社員）
18		岡山大学大学院自然科学研究科/非常勤研究員（非常勤講師も）-H24. 2. 28 岡山大学大学院自然科学研究科/助教H24. 3-
19		岡山大学大学院自然科学研究科/非常勤講師-H23. 12. 31 帰国/就職活動中
20		[NIGERIA/Yaba College of Technology/Principal Lecturer]
21		[Malaysia/Universiti Malaysia Pahang/Lecture]岡山大学ポスドク
22		[マレーシア/University Putra Malaysia/Lecturer]
23		[ケニア/Jomo Kenyatta University of Agriculture and Technology/Assistant Lecturer]
24		就職活動中
25		帰国/就職活動中
26	H24	熊本高等専門学校/助教
27		[（独）国立文化財機構奈良文化財研究所]→岡山大学異分野融合先端研究コア/非常勤研究員H25. 4-
28		[Beauty & Health Innovation(日本)/技術者]
29		[出雲村田製作所/係長・技術者]
30		[岡山県工業技術センター/研究員]
31		[島根県産業技術センター/研究員]
32		[シンフォニアテクノロジー/製造技術者-開発]
33		[日本原子力研究開発センター/主査・研究者]
34		[野村総合研究所/技術者] H24. 3. 21VIZA技術へ変更済
35		岡山大学自然科学研究科/外国人客員研究員H25. 4. 1-H26. 3. 31
36		岡山大学自然科学研究科/特別契約職員・技術職員
37		岡山大学自然科学研究科/博士研究員H25. 4. 1-H25. 7. 9 NAリテイル/技術者（非）H25. 7. 10-/H26-正規採用
38		岡山大学大学院自然科学研究科/外国人客員研究員-H25. 3. 31 アマダ/技術者H25. 4. 1予定
39		大日本塗料/研究者
40		[Universiti Malaysia Pahang/Lecturer]
41		[Universiti Malaysia Pahang/Teacher]
42		[インドネシア/Electronic Engineering Polytechnic Institute of Surabaya/Lecturer]
43		[インドネシア/MATARAM UNIVERSITY/Lecturer]
44		代リス/Brunel University/Research Fellow（非） 堀場製作所 エナジーシステム計測開発部/研究員2013. 11-
45		中国/四川省泸州医学院/教師
46		中国/河南科技大学/教員
47		韓国/群山大学校海洋科学大学/研究者 韓国/HANBYEOL/研究者
48		就職準備中
49		就職準備中
50		就職準備中・帰国

No.	修退年度	就職先（〔入学・在学〕・退学・修了時）
51	H25	岡山大学若手研究者キャリア支援センター／特任助教-6/30一時的
52		埼玉大学大学院理工学研究科／助教
53		[カイインダストリーズ／技術者-その他]
54		[片岡製作所／技術者-開発]
55		[ホーコス／技術者-開発-機械]
56		[新日鐵住金／主幹研究員-科学研究者]
57		岡山県工業技術センター／技師-科学研究者
58		岡山大学自然科学研究科/外国人客員研究員
59		岡山大学自然科学研究科/外国人客員研究員
60		岡山理科大学／博士研究員
61		岡山理科大学／博士研究員（～H26.9まで）
62		学術振興会特別研究員ポスドク／岡山大学工：小野努
63		協和ファインテック／課長
64		富士通エフ・アイ・ピー／SE技術者-情報
65		岡山大学自然科学研究科／非常勤研究員
66		岡山大学自然科学研究科／非常勤研究員
67		[マレーシア/UNIVERSITI MALAYSIA PERLIS/LECTURER]
68		HANBYEOL Research institute／研究者
69		中国長春理工大学／助教
70		就職準備中（帰国）
71	H26	岡山大学医歯薬学総合研究科/助教
72		関西学院大学理工学部/助手-非正規
73		[産業技術総合研究所/研究者-主任]
74		[新日鐵住金/科学技術者]
75		[住友電気工業/開発技術者-機械]
76		GSユアサ/科学研究者
77		英田エンジニアリング/技術者-情報
78		アプリシアテクノロジー/開発技術者-機械
79		岡山大学自然科学研究科/外国人客員研究員
80		岡山大学自然科学研究科/外国人客員研究員
81		岡山大学自然科学研究科/外国人客員研究員
82		日本学術振興会//特別研究員PD（岡大工・渡辺）
83		日本学術振興会/特別研究員PD
84		[Egypt/Menofiya University/Assistant Lecturer]
85		帰国（就職準備中）
86	H27	[津山工業高等専門学校/助教]
87		[UNIVERSITY MALAYSIA PAHANG/FELLDW]
88		[岡山県工業技術センター/専門研究員]
89		[日本エクスラン工業]→林原/技術者
90		[武田薬品工業/主任研究員]
91		[武田薬品工業/製造技術者-開発]
92		天辻鋼球製作所/課長
93		天野エンザイム/研究開発職
94		岡山県工業技術センター/研究職員
95		岡山大学自然科学研究科/外国人客員研究員
96		岡山大学自然科学研究科/博士研究員
97		岡山大学自然科学研究科/博士研究員
98		京都大学大学院工学研究科機械理工学専攻メカトロニクス研究室/ポスドク-有給
99		住友化学/研究職
100		とめ研究所/情報処理技術者
101		日本学術振興会/特別研究員（岡山大学妹尾研究室）
102		岡山大学自然科学研究科/博士研究員-H28.4.30 H28.5-岡山大学医歯薬学総合研究科/非常勤研究員
103		[JahangirnagarUniversity/Assistant Professor]
104		[Universiti Tun Hussein Onn Malaysia/Lecturer]
105		[University Tun Hussein Onn Malaysia/Lecturer]
106		岡山大学自然科学研究科/非常勤研究員
107		就職活動中 帰国
108		就職準備

2015 年 10 月 吉日

人事採用ご担当者 様

国立大学法人 岡山大学
株式会社 船井総合研究所

本学が計画中の「医療科学連携大学院（仮称）」設置に係るアンケート実施のお願い

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より本学の教育活動にご指導・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、本学では、2018 年 4 月開設に向けて、「医療科学連携大学院（仮称）」の設置を計画しております。

本計画における文部科学省への申請におきまして、企業・団体等における人材需要のニーズを記載する事項があり、それらを的確に捉えるべく、「企業・団体等向けアンケート」を実施することになりました。（「企業・団体等向けアンケート」は、個人の特定につながる情報の収集は一切行いません。）

つきましては、大変ご多忙な中、お手数をおかけして誠に恐縮ではございますが、人事採用ご担当者様に、アンケート実施のご協力を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。調査実施にあたりましては、文部科学省より第三者による実施が望ましいと指導されておりますので、株式会社船井総合研究所に調査を委託しております。アンケート詳細については別紙①実施要領をご覧ください、実施頂けると幸いです。

末筆ながら、貴社・貴団体の益々のご発展を心より祈念申し上げます。

謹白

【調査委託先・調査担当】

株式会社 船井総合研究所 担当：渡邊（俊）、千葉

TEL 03-6212-2930 FA03-6212-2943

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1 丁目 6 番 6 号 日本生命丸の内ビル 21 階

【調査委託元】

国立大学法人 岡山大学

アンケート調査実施要領

1. アンケートの目的

岡山大学が2018年4月より、医療科学連携大学院（仮称）を新設するにあたり、企業・団体等の人事採用ご担当者の皆様のご意見をカリキュラム等に反映させていただくとともに、集計データを文部科学省への「設置認可申請」（2017年3月予定）の提出書類の一部として活用させていただきます。個別の企業・団体名を公表することはありません。

2. 今回の封入物について

- 岡山大学が計画中的「医療科学連携大学院（仮称）」設置に係るアンケート実施のお願い
- アンケート調査実施要領（本状）
- 返信用の封筒
- アンケート調査用紙

3. アンケートの内容・回収方法について

アンケート調査用紙は1部同封しております。10問程度の質問項目にて、以下の内容をお訊ね致します。

- ・回答者の基本情報（例：業種、など）
- ・岡山大学が計画中的医療科学連携大学院（仮称）の学生への採用意向

質問項目は選択式と自由回答式があり、アンケート調査用紙に直接記入する形式です。回答に要する時間は、最大で10分程度となります。無記名のアンケートですので、個人が特定されることはありません。（ただし、会社・団体名は恐れ入りますが、ご記入下さいませ。）※個別の企業・団体名を公表することはありません。

4. アンケートの返送方法について

回答後は、アンケート用紙を同封の返信用封筒に封入し、ご返送をお願い致します。（料金ご負担の必要は一切ございません。そのままポストへ投函できます。）

5. 返送締切日について

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、回収の締切を2015年11月6日（金）とさせていただきます。

※本調査は株式会社船井総合研究所が委託を受けて行っております。

回収したアンケートに関しましては、責任を持って厳重に取り扱います。

また、アンケート調査が終わり次第、速やかに岡山大学へと返却されます。

本アンケートの実施につきまして、ご不明な点がございましたら、委託しております第三者機関（株式会社船井総合研究所）にお問い合わせ頂きますようお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】株式会社 船井総合研究所 担当：渡邊（俊）、千葉

TEL 03-6212-2930 FA03-6212-2943

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目6番6号 日本生命丸の内ビル 21

国立大学法人 岡山大学
「医療科学連携大学院（仮称）」
新設に係るニーズアンケート調査



岡山大学
OKAYAMA UNIV.

アンケートにお答えになる前に以下の「医療科学連携大学院」についての内容をご確認くださいませ

設置構想中

※当大学院は現在、構想中であるため、今後、名称/内容共に変更となる可能性があります

岡山大学 医療科学連携大学院 (仮称)

岡山大学は、①最先端医療・創薬、最新の健康管理手法、②IoT情報ネットワークにおける研究開発、③社会実装の方法論の提供、を目的とした大学院を新規設立します。高齢化社会のQOL(Quality of Life)を支える医療産業の成長を促進できる素養を持つ人材の養成を目指します。

※IoT(Internet of Things)とは

モノのインターネット (Internet of Things : IoT) とは、従来は主にパソコンやサーバー、プリンタ等のIT関連機器が接続されていたインターネットに、それら以外の様々な“モノ”を接続する技術

※QOL(Quality of Life)とは

ひとりひとりの人生の内容の質や社会的にみた生活の質のことを指す。つまりある人がどれだけ人間らしい生活や自分らしい生活を送り、人生に幸福を見出しているか、ということ尺度としてとらえる概念

※ビッグデータとは

従来のデータベース管理システムなどでは記録や保管、解析が難しいような巨大なデータ群。今までは管理しきれなかったデータ群を記録・保管して解析することで、ビジネスや社会に有用な知見を得たり、これまでにないような新たな仕組みやシステムを産み出す可能性が高まるとされている。

※デジタルヘルスとは

近年、医療・健康・介護の技術革新によって生まれた新産業。フィットネス支援、健康管理などのヘルスケア、Telemedicine (遠隔診断) Telehealth (遠隔治療) 遺伝子解析、介護、医療事務、医療ビッグデータ、EMR (電子カルテシステム)、院内連携システム等、領域は幅広い。

本大学院の概要

- 開設時期：2018年4月 (予定)
- 開設場所：岡山大学内
(岡山市北区津島中3丁目1番1号)
- 修業年限：修士3年・博士3年
※修士博士通して、3年で修業認定する短期プログラムも想定中
- 取得学位：
 - 修士
 - 博士
 - 情報処理技術者 (バイオインフォマティクス) など修士以上に相当する資格
- 分野：
 - ① 医療機械/機器分野
 - 医療機器・医用材料：最先端の技術開発
 - ② 創薬分野
 - バイオおよび分子標的医薬品、最先端の治療法の確立
 - ③ デジタルヘルス分野
 - ビッグデータ、IoTによる医療イノベーションの創出
 - ④ ヘルスケアビジネス分野
 - 医療機器、創薬およびデジタルヘルスを基にした、ヘルスケアビジネスを創出

養成する人物像

- 高齢化社会のQOL(Quality of Life)を支える医療産業の成長を促進できる素養を持つ人材の養成を目指します。
- 本大学院が必要と考える、医療産業の成長の促進に必要とされる能力は、①最先端医療・創薬、最新の健康管理手法、②IoT情報ネットワークにおける研究開発力、③社会実装の方法論です。
- したがって、本大学院では、上記能力を保有する人物を養成することを目指します。

各分野の学習内容

①医療機械/機器分野

■ 医療機器・医用材料：最先端の技術開発により、革新的な医療機器・医用材料を産み出す
認知システム開発 (認知症診断)、センサー・アクチュエータ技術、人工筋肉、パワーアシスト、メカトロニクス等
無機バイオ材料、高分子材料、有機化合物、分子設計、DDS、等

②創薬分野

■ バイオおよび分子標的医薬品、再生医療：最先端の治療法を確立する
分子標的医薬、タンパク質・核酸・抗体医薬、遺伝子組み換えウイルス、細胞療法、細胞シート、スカフォールド等

③デジタルヘルス分野

■ デジタルヘルス：ビッグデータ、IoT技術に基づく医療イノベーションを創出する
ビッグデータ (カルテ、レセプト等) 分析に基づく医療効率化、医療費削減、医療・介護費の適正化、経営管理や健康管理、在宅医療ケアシステム、ウェアラブル端末等を利用した医療・介護のシステム形成、また、ビッグデータの漏出やサイバー攻撃から守るサイバーセキュリティ

④ヘルスケアビジネス分野

■ ヘルスケア産業 (医療機器、創薬およびデジタルヘルス) を社会実装してヘルスケアビジネスを創出する
経済、経営管理の論理や医療倫理、消費者心理を研究し、上記3分野を社会実装して、ビジネスと市場を形成していく方法論

アンケートにお答えになる前に以下の「医療科学連携大学院」についての内容をご確認くださいませ

設置構想中

※当大学院は現在、構想中であるため、今後、名称/内容共に変更となる可能性があります

岡山大学 医療科学連携大学院 (仮称)

卒業後の進路

- 卒業後は、以下のような様々な場でご活躍いただくことを想定しております。

- ◆医療機器産業・製薬・食品・化粧品メーカー
- ◆医療関連コンサルティング会社
- ◆関連するサービス業
- ◆ヘルスケアを軸とした新規ビジネス創出企業

※参考※

【医薬品市場】

- 日本の医薬品市場規模は、平成12年から、成長率も約4%と上昇傾向にある。
- 平成23年には世界の市場規模9,500億ドル(約95兆円)の内、9.3兆円を占めている。
- これは世界の約1割を占める割合であり、米国に次ぐ世界第2位の市場となっている。

【医療機器市場】

- 日本の医療機器市場規模は、平成23年において、日本国内で2.4兆円と過去最高を記録している。
- 高齢化の進展と新興国における医療需要拡大を受け、世界市場は約8%の成長率を維持しており、今後も拡大すると予測されている。
- 新興国では著しい経済成長に対応して、医療サービスやQOL向上を支える医療産業に従事する高度技術者に対する需要が大幅に伸びることが予想される。

アクセス



利用交通機関	経路
JR	岡山駅:西口広場2Fタクシー乗り場から約7分 津山線「法界院」駅:徒歩約10分
JR岡山駅 ↓ 岡電バス	岡山駅西口バスターミナル2番乗り場から【47】系統「岡山理科大学」行きに乗車 ▼ 「岡大入口」、「岡大西門」、「福居入口」又は「岡大東門」で下車 ※本線は時間帯により「岡大東門」には停車しない場合があります。 ※「岡大東門」へはキャンパス外周を回った後に到着します。 ※所要時間約7~10分 岡山駅東口バスターミナル2番乗り場から【17】【67】系統「妙善寺」行に乗車 ▼ 「岡大東門」、「岡大西門」または「福居入口」で下車 ※所要時間約30分 岡山駅東口バスターミナル7番乗り場から、下記バスに乗車 ・【16】系統「津高台団地・半田山ハイツ」行き ・【26】系統「岡山医療センター国立病院」行き ・【36】系統「辛香口」行き ・【86】系統「運転免許センター」行き ▼ 「岡山大学筋」で下車 ▼ 大学まで徒歩約7分 ※所要時間バス約10分 徒歩約7分

- アンケート票（採用生対象） -

ここからがアンケートとなります。皆様の率直なご意見をお伺いさせていただきます。なお、アンケート項目には“自由回答（記述していただくもの）”と“単一回答（1つのみ選択できるもの）”、“複数回答（複数を選択できるもの）”がございます。恐れ入りますが、注意しながらご回答ください。

選択の際は、あてはまる番号を○で囲んでください

Q 1. 会社名及び研究機関名をお答えください

自由回答

記述（ ）

Q2. 会社及び研究機関の業種と最も近いものをお答えください

単一回答

- ① 製造業
- ② 卸売／小売／販売代理業／商取引業
- ③ 情報通信業
- ④ 金融／保険業
- ⑤ 教育研究機関および学校関係
- ⑥ その他（記述： ）

Q 3. 2014年度は新卒者を何名採用されましたか。実績をお答えください

自由回答

記述（ ）名

Q 4. Q 3でお答えいただいた内、修士課程卒業者は何名ですか。実績をお答えください

自由回答

記述（ ）名

Q 5. Q 3でお答えいただいた内、博士課程卒業者は何名ですか。実績をお答えください

記述（ ）名

Q 6. 社会的な課題を解決するために異分野を融合した新しい総合大学院（修士課程）の設立についてどのようにお考えですか。

単一回答

- ① 大変必要性を感じる
- ② ある程度必要性を感じる
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまり必要性を感じない
- ⑤ まったく必要性を感じない

Q 7. 社会的な課題を解決するために異分野を融合した新しい総合大学院（博士課程）の設立についてどのようにお考えですか。

単一回答

- ① 大変必要性を感じる
- ② ある程度必要性を感じる
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまり必要性を感じない
- ⑤ まったく必要性を感じない

Q 8. Q 6 や Q 7 であなたがそのようにご回答された理由をお答えください。

自由回答

記述 ()

Q 9. このような総合教育を目指す大学院（修士課程）の修了者にどのようなものを期待されますか。あてはまるものすべてお答え下さい。

複数回答

- ① 修得した専門知識
- ② 研究開発能力
- ③ 独創性
- ④ 共同で開発する能力
- ⑤ 指導力
- ⑥ 幅広い知識
- ⑦ 国際性
- ⑧ プレゼンテーション能力
- ⑨ その他（記述：)

Q 10. このような総合教育を目指す大学院（博士課程）の修了者にどのようなものを期待されますか。あてはまるものすべてお答え下さい。

複数回答

- ① 修得した専門知識
- ② 研究開発能力
- ③ 独創性
- ④ 共同で開発する能力
- ⑤ 指導力
- ⑥ 幅広い知識
- ⑦ 国際性
- ⑧ プレゼンテーション能力
- ⑨ その他（記述：)

Q 11. 医療機器・創薬・ビッグデータ・IoTとこれらの実用化および社会的課題解決を総合的に教育する大学院が岡山大学に設置された場合、その修了者を採用する意向がありますか。

単一回答

- ① 是非採用したい
- ② 採用を検討したい
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまり採用したくない
- ⑤ まったく採用したくない

Q 12. Q 11 であなたがそのようにご回答された理由をお答えください。

自由回答

記述 ()

Q13. 岡山大学に前問のような大学院が設置された場合、貴施設で就労している職員が本大学院で学びたいと考えた場合、どのような対応が考えられますか。

単一回答

- ① 積極的に勧める
- ② ある程度勧める
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまり勧めない
- ⑤ まったく勧めない

Q14. Q13であなたがそのようにご回答された理由をお答えください。

自由回答

記述 ()

- ご協力有難うございました -

2016年7月 吉日

人事採用ご担当者 様

国立大学法人 岡山大学
株式会社 船井総合研究所

本学が計画中の「大学院医療科学統合研究科（仮称）」設置に係るアンケート実施のお願い

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より本学の教育活動にご指導・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、本学では、2018年4月開設に向けて、「大学院医療科学統合研究科（仮称）」の設置を計画しております。

本計画における文部科学省への申請におきまして、企業・団体等における人材需要のニーズを記載する事項があり、それらを的確に捉えるべく、「企業・団体等向けアンケート」を実施することになりました。（「企業・団体等向けアンケート」は、個人の特定につながる情報の収集は一切行いません。）

昨年度も実施させていただいたアンケート同様の内容になるのですが、経年の結果の変遷を把握させていただきたいと考えておりますので、ご協力賜れば幸甚です。

つきましては、大変ご多忙中、お手数をおかけして誠に恐縮ではございますが、人事採用ご担当者様に、アンケート実施のご協力を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。調査実施にあたりましては、文部科学省より第三者による実施が望ましいと指導されておりますので、株式会社船井総合研究所に調査を委託しております。アンケート詳細については別紙①実施要領をご覧ください、実施いただけると幸いです。

末筆ながら、貴社・貴団体の益々のご発展を心より祈念申し上げます。

謹白

【調査委託先・調査担当】

株式会社 船井総合研究所 担当：渡邊（俊）、千葉

TEL 03-6212-2930 FA03-6212-2943

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目6番6号 日本生命丸の内ビル 21階

【調査委託元】

国立大学法人 岡山大学

アンケート調査実施要領

1. アンケートの目的

岡山大学が2018年4月より、大学院医療科学統合研究科（仮称）を新設するにあたり、企業・団体等の人事採用ご担当者の皆様のご意見をカリキュラム等に反映させていただくとともに、集計データを文部科学省への「設置認可申請」（2017年3月予定）の提出書類の一部として活用させていただきます。個別の企業・団体名を公表することはありません。

2. 今回の封入物について

- 岡山大学が計画中の「大学院医療科学統合研究科（仮称）」設置に係るアンケート実施のお願い
- アンケート調査実施要領（本状）
- 返信用の封筒
- アンケート調査用紙

3. アンケートの内容・回収方法について

アンケート調査用紙は1部同封しております。15問程度の質問項目にて、以下の内容をお尋ね致します。

- ・回答者の基本情報（例：業種、など）
- ・岡山大学が計画中の大学院医療科学統合研究科（仮称）の学生への採用意向

質問項目は選択式と自由回答式があり、アンケート調査用紙に直接記入する形式です。回答に要する時間は、最大で10分程度となります。無記名のアンケートですので、個人が特定されることはありません。（ただし、会社・団体名は恐れ入りますが、ご記入くださいませ。）※個別の企業・団体名を公表することはありません。

4. アンケートの返送方法について

回答後は、アンケート用紙を同封の返信用封筒に封入し、ご返送をお願い致します。（料金ご負担の必要は一切ございません。そのままポストへ投函できます。）

5. 返送締切日について

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、回収の締め切りを2016年7月20日（水）とさせていただきます。

※締切日までに投函いただければ幸いです。

※本調査は株式会社船井総合研究所が委託を受けて行っております。

回収したアンケートに関しましては、責任を持って厳重に取り扱います。

また、アンケート調査が終わり次第、速やかに岡山大学へと返却されます。

本アンケートの実施につきまして、ご不明な点がございましたら、委託しております第三者機関（株式会社船井総合研究所）にお問い合わせいただきますようお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】株式会社 船井総合研究所 担当：渡邊（俊）、千葉

TEL 03-6212-2930 FA03-6212-2943

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目6番6号日本生命丸の内ビル21階

国立大学法人 岡山大学
「大学院医療科学統合研究科（仮称）」
新設に係るニーズアンケート調査



アンケートにお答えになる前に以下の「大学院医療科学統合研究科（仮称）」についての内容をご確認ください

設置構想中

※当研究科は現在、構想中であるため、今後、名称/内容共に変更となる可能性があります

岡山大学 大学院医療科学統合研究科（仮称）

岡山大学では平成30年（2018年）4月に新研究科の設置を計画しております。「設置の趣旨・目的」と「概要」をお読みにになり、アンケートにお答えいただければ幸いです。

1. 本研究科の 趣旨・目的

医工連携の社会的な重要性に加え、少子化や高齢化の進展により複雑化する社会的課題に対応するためには、現在の医工連携の試みをさらに発展させる必要があるという判断から、岡山大学では新研究科の設置が構想されています。

新研究科は、これまでの医工連携の基盤を拡大し、さらに「ヒトの社会的側面」、すなわち人間・社会・市場の受容という視点を含めて対応するにあたり必要な「人文社会科学系」が関与することで、複雑化する社会的課題に対応することを目的とし、構想が練られています。

本学では、医歯薬学総合研究科と自然科学研究科が連携した医歯工学先端技術研究開発センターを平成16年度に発足させて、「医学・歯学・工学」の融合の基盤を培ってきました。

その後、大学院自然科学研究科に生命医用工学専攻が平成27年度に設置されました。生命医用工学専攻では、

- ① 社会の高齢化とともに増加する国民の介護・医療・福祉への負担の軽減
- ② 患者のQOL向上を可能にする新しい医療機器・診断治療技術・創薬開発技術の研究開発
- ③ 持続可能かつ安全・安心な社会実現に貢献するために、自然科学に医学的要素を組み入れた学問の再構築・体系化を教育・研究の基本目的としています。

※QOL(Quality of Life)とは

ひとりひとりの人生の内容の質や社会的にみた生活の質のことを指す。つまりある人がどれだけ人間らしい生活や自分らしい生活を送り、人生に幸福を見出しているか、ということをも尺度としてとらえる概念

2. 本研究科の概要

- | | |
|---------------------------------|---|
| - 開設時期：
2018年4月（予定） | - 学習分野：
① 工学系 |
| - 開設場所：
岡山大学内（津島および鹿田キャンパス内） | - 工学分野の課題を考究するために、高度専門知識を習得 |
| - 修業年限：
修士2年・博士3年 | ② 医療系
- 医学的な知識や考え方および医療現場における視点を通じた課題抽出能力を習得 |
| | ③ 人文社会科学系
- 現実から遊離した机上の学問ではなく、医療・ケアの現場に根ざしつつ、人文科学・社会科学を中心に新たな価値観やシステムを創出できる能力を習得 |

①養成する人材像

【博士前期課程において】

- 学生が学部教育において専門とした諸分野の基礎知識を貯えた上で、高齢化社会が抱える介護、医療、福祉に関連する技術的課題を、諸科学における領域の手法を組み合わせながら自立して創造的に解決する能力とそれをささえる専門的知識を有する人材を養成します。
- さらに、英語によるコミュニケーションを通して国際性の豊かな人材を養成します。

【博士後期課程において】

- 高齢化社会が抱える介護、医療、福祉に関連するさまざまな困難から、学術によって応えうる問いや課題を設定でき、これに対応して仮説を立てられ、その仮説を適切な科学的方法で証明していくことができる人材を養成します。
- これにより、社会が抱える困難な課題を建設的に整理し、その構成を明らかにして、創造的に解決する能力とそれをささえる高度な科学的知識の基盤を有し、さらに、国際的にもリーダーシップを発揮して活躍できる自立した人材を養成します。
- なお、育成すべき能力や人材像に関する事前調査においても企業様から、自立性・コミュニケーション能力・主導性などの能力や、医学的知識と工学的知識、医薬品等の製造品質管理基準などの知識が求められていました。

②卒業後の進路

- 大学教員，国家公務員，地方公務員，公設研究機関，医療関連機器メーカー研究・開発部門，医療関連情報企業研究・開発部門，創薬企業研究・開発部門，化学素材関連企業研究・開発部門，病院，医療系コンサルティング，ヘルスケア企業，ヘルスケアサービス施設，ビジネスデザイン開発部門，ケア関連経営営業部門など
- ※ 幅広いバックグラウンドを活かした多様な進路を想定しています。

③分野別の学習内容（カリキュラム）

【博士前期課程において】

- 「異分野統合」を共通の学問理念としながら、専門的視点を併せ持って喫緊の社会課題である少子化高齢化に立ち向かう人材の育成と研究を進めます。
- 教育科目として共通科目群と専門科目群を構成します。
- 工学系科目では関連する工学分野の課題を考究するために、「生体機能分子設計学分野」「1分子生物化学分野」「細胞機能設計学分野」「無機バイオ材料工学分野」「生体分子工学」「蛋白質医用工学分野」「ナノバイオシステム分子設計学分野」「オルガネラシステム工学分野」「人間情報処理工学分野」「医用情報ネットワーク学分野」「先端診断計測工学分野」「インタフェースシステム学分野」「認知神経科学分野」の各分野における専門知識を習得して頂きます。
- 医療系科目ではまた医療現場の知見を持つ医師免許を含む医療系免許保持教員による「医療科学概論」により、医学的な側面のとらえ方を教育し、また現場における困難の視点の伝達を通じて課題抽出能力を養います。
- 人文社会科学系科目からは、現実から遊離した机上の学問ではなく、医療・ケアの現場に根ざしつつ、人文科学・社会科学を中心に超高齢化社会・人口減少社会における人間の生き方（生老病死）を支える新たな価値観やシステムの創出を目指します。
- これらを通じた教育カリキュラムは、学生の学部で学び基礎を構築してきた各学問体系の知識や技術を、相互補完して伸ばすことを目的としております。

【博士後期課程において】

- 専門領域の高度な知識や技術を深め、また、学生の求める将来のキャリアパスに応じて、グローバルに本領域をリードできる科学者や技術者を育成します。
- このために、教育科目として共通科目群と専門科目群を構成します。これらの科目は、日本人進学者、留学生、社会人といった多様な学生に対して高い教育効果を挙げるために、指導教員の指導の下でオーダーメイド的に履修科目の選択を行います。
- 博士論文の研究指導においては、副指導教員のうちの1名に他専門の教員を積極的に配置し、幅広い視点や観点から博士研究が実施できる体制とします。
- 研究実施においては、指導教員が各所と共同で進めている研究テーマも含めて関連した課題を自ら設定して自立的に取り組みますが、中間審査などで定期的に進捗状況を確認して必要な指導を行うとともに、研究者倫理の下で研究を実施し、科学的方法の正しい理解に基づいた研究論文の作成を行うように指導します。

④キャンパス配置図



＜津島キャンパス＞

岡山市北区津島中1丁目1番1号

薬学部、農学部

医歯薬学総合研究科（薬）、環境生命科学研究科（農）

岡山市北区津島中3丁目1番1号

文学部、教育学部、法学部、経済学部、理学部、工学部、環境理工学部

社会文化科学研究科、教育学研究科、自然科学研究科、環境生命科学研究科（環）
法務研究科

＜鹿田キャンパス＞

岡山市北区鹿田町2丁目5番1号

医学部、歯学部

医歯薬学総合研究科（医、歯）、保健学研究科

岡山大学病院

ここまでお読みいただき、ありがとうございました。
それでは次ページからのアンケートにお答えください。 ⇒

- アンケート票（採用ご担当対象） -

ここからがアンケートとなります。皆様の率直なご意見をお伺いさせていただきます。なお、アンケート項目には“自由回答（記述していただくもの）”と“単一回答（1つのみ選択できるもの）”、“複数回答（複数を選択できるもの）”がございます。恐れ入りますが、注意しながらご回答ください。

選択の際は、あてはまる番号を○で囲んでください

Q 1. **自由回答** 会社名及び研究機関名をお答えください。

記述（ ）

Q 2. **単一回答** 会社及び研究機関の業種と最も近いものをお答えください。

- ① 製造業
- ② 医療／福祉業
- ③ 卸売／小売／販売代理業／商取引業
- ④ 情報通信業
- ⑤ 金融／保険業
- ⑥ 教育研究機関および学校関係
- ⑦ その他（記述： ）

Q 3. **自由回答** 2015年度は新卒者を何名採用されましたか。実績をお答えください。

記述（ ）名

Q 4. **自由回答** Q 3でお答えいただいた内、修士課程（博士前期課程）修了者は何名ですか。実績をお答えください。

記述（ ）名

Q 5. **自由回答** Q 3でお答えいただいた内、博士課程（博士後期課程）修了者は何名ですか。実績をお答えください。

記述（ ）名

Q 6. **自由回答** 超高齢化などの現代の社会情勢に対して貴社・貴機関が取り組まれている課題がありましたら具体的に回答してください。

記述（ ）

Q 7. **複数回答** 社会的な課題を解決するために異分野を統合した大学院医療科学統合研究科(博士前期課程)の修了者にどのようなものを期待されますか。あてはまるものすべてお答えください。

- ① 修得した専門知識
- ② 研究開発能力
- ③ 独創性
- ④ 共同で開発する能力
- ⑤ 指導力
- ⑥ 幅広い知識
- ⑦ 国際性
- ⑧ プレゼンテーション能力
- ⑨ その他(記述:)

Q 8. **複数回答** 社会的な課題を解決するために異分野を統合した大学院医療科学統合研究科(博士後期課程)の修了者にどのようなものを期待されますか。あてはまるものすべてお答えください。

- ① 修得した専門知識
- ② 研究開発能力
- ③ 独創性
- ④ 共同で開発する能力
- ⑤ 指導力
- ⑥ 幅広い知識
- ⑦ 国際性
- ⑧ プレゼンテーション能力
- ⑨ その他(記述:)

Q 9. **単一回答** このような大学院医療科学統合研究科が岡山大学に設置された場合、その修了者(博士前期課程)を採用する意向がありますか。

- ① 採用したい
- ② 採用を検討したい
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまり採用したくない
- ⑤ まったく採用したくない

Q 1 0. **単一回答** このような大学院医療科学統合研究科が岡山大学に設置された場合、その修了者（博士後期課程）を採用する意向がありますか。

- ① 採用したい
- ② 採用を検討したい
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまり採用したくない
- ⑤ まったく採用したくない

Q 1 1. **単一回答** 岡山大学に大学院医療科学統合研究科が設置され、貴社・貴機関で就労している職員が本研究科で学びたいと考えた場合、どのような対応が考えられますか。

- ① 積極的に勧めたい
- ② 勧めたい
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまり勧めない
- ⑤ まったく勧めない

Q 1 2. **自由回答** Q 1 1 であなたがそのようにご回答された理由をお答えください。

記述（ ）

Q 1 3. **単一回答** 社会的な課題を解決するために異分野を統合した大学院医療科学統合研究科（博士前期課程）の設置についてどのようにお考えですか。

- ① 必要性を感じる
- ② ある程度必要性を感じる
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまり必要性を感じない
- ⑤ まったく必要性を感じない

Q 1 4. **単一回答** 社会的な課題を解決するために異分野を統合した大学院医療科学統合研究科（博士後期課程）の設置についてどのようにお考えですか。

- ① 必要性を感じる
- ② ある程度必要性を感じる
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまり必要性を感じない
- ⑤ まったく必要性を感じない

Q 1 5. **自由回答** Q 1 3 や Q 1 4 であなたがそのようにご回答された理由をお答えください。

記述（ ）